

# 防災ヴィラ

#こくみん防災村 in なら

パフォーマンス

Hyouge Rope氏

ワークショップ

防災×インテリア



ロープだけを使って見せる  
新感覚のパフォーマンスショー



おしゃれに備える「ジェル  
キャンドルホルダー」づくり

大学生協



大学生による  
パネルディスカッション

医療生協



避難生活における  
健康維持・管理

衣



簡単に使える・作れる便利グッズ

食



ぼうさいカフェ

住



住まいに関する災害を模擬体験

基調講演

「天気予報の見方・聞き方～防災情報はこう使う!～」

気象予報士 片平 敦氏



気象予報士として活躍される片平氏からは、「災害時に発信される防災気象情報を上手に活用し、災害から命を守る方法」について詳しく解説いただきました。そして、「災害から命を守るのは、地域の力と一人ひとりの思いやりの心(共助)」であることを教えていただきました。

基調講演

「災害から命を守るために」

奈良県総務部知事公室次長(防災統括室長) 中西秀人氏



奈良県防災統括室からは、ハザードマップや過去に発生した災害から地域の災害に関する特性を知ること、災害発生時の避難行動を詳細まで確認しておくこと、災害時には生命の安全確保を最優先課題とするものの大切さについて講演いただきました。

## 開催報告

特別号 ZENROSAL NEWS 2618Z005

発行所:全労済奈良推進本部

〒630-8325  
奈良県奈良市西木辻町200-47

2018年11月3日(土・祝)、奈良春日野国際フォーラムにおいて防災啓発活動として「一紡いでゆく、みんなの防災一 防災ヴィラ」を開催しました。私たちが今年多数経験した大災害。この記憶と教訓を次の時代へと「紡ぐ」こと、そして地域の皆さまが防災を自分自身のこととして考え「紡ぐ」ことが今まさに必要なことであると考え、企画しました。当日は500人の方にご来場いただき、さまざまな角度

から防災を考えていただくことができました。イベント終了後も奈良県にお住まいの皆さまに「備えることの大切さ」を紡いでゆきたい、そんな想いを込めてこの特別号を発刊します。

タイム  
スケジュール

2F

レセプションホール

12:00 開会挨拶

12:10-12:40  
パフォーマンス  
「Hyouge Rope」

12:40-12:50  
健康体操

13:50-14:20  
パフォーマンス  
「Hyouge Rope」

14:20-14:30  
健康体操

15:00-16:30  
湯煮温による  
ジェルキャンドル出張教室

17:00 閉会

1F

能楽ホール

13:00-13:30  
「災害から命を守るために」  
奈良県総務部知事公室次長  
(防災統括室長) 中西 秀人氏

13:30-14:30  
「天気予報の見方・聞き方  
～防災情報はこう使う!～」  
気象予報士 片平 敦氏

14:45-15:45  
(第1部)学生による  
パネルディスカッション

16:00-17:00  
(第2部)ワークショップ

CLOSE  
UP クローズ  
アップ

奈良教育大学と奈良県立大学の学生による

パネルディスカッション

「大学生が“紡ぐ”これからの防災のかたち」

奈良県下の大学生が主体となり、外国人留学生も交え、「奈良という地域ならではの防災課題」について多様な観点から議論しました。

議論A 「防災活動」から「地域づくり」へ

議論B 歴史文化財の防災対策

議論C 災害時の交通インフラ確保

議論D 防災活動からのつながり



各議論に共通する課題の一つとして、「災害発生時の情報共有」があげられました。特に奈良県に多い外国人来訪者への災害時の情報共有対策とは？

年々増加する外国人来訪者への災害時の情報共有対策となるのは「誰もがわかりやすい日本語」。  
奈良県下の留学生とともに、言語・文化の違いをふまえ議論しました!!

災害時の緊急情報は、  
一文に多数の情報が含まれ、  
日本語を勉強している外国人でも  
理解が難しい。



災害時は、情報を取捨選択し、  
一文を短くすることで  
外国人でも理解しやすくなる。



災害時の緊急情報に含まれる  
様々な情報の重要度が  
判別しにくい。



災害時は、大切な情報・結論を  
冒頭に伝えることで  
外国人でも理解しやすくなる。



災害時の緊急情報に使用される、  
「直下型」・「震源」・  
「(強い揺れに)見舞われた」など  
熟語や表現が理解しにくい。



災害時は、難しい熟語や表現を避け、  
簡易な言葉で伝えることで  
外国人でも理解しやすくなる。



## 気づき



年々増加する外国人とコミュニケーションをとること  
に対して抵抗を感じる必要  
はなく、一人ひとりの「やさ  
しい気持ち」が大切である。  
さらには、災害時における  
「子ども」への対応が、日常  
における外国人とのコミュ  
ニケーションにも活用でき  
ること。

## まとめ

「防災」は、以下の視点からみんなで「伝える」ことが大切である

- ①過去の経験や教訓を未来へ「紡ぐ」こと
- ②防災の意識をあなたから「紡ぐ」こと
- ③防災を自分のこととして「紡ぐ」こと



パネルディスカッション  
企画・運営

奈良教育大学生生活協同組合・奈良県立大学生生活協同組合

湯煮温によるジェルキャンドル出張教室の参加費、  
KIZUNA Café出張販売にて皆さまからいただいた代金は、  
**全額を災害義援金として日本赤十字社  
奈良県支部を通じて、被災された方へお届けしました。**  
ご協力ありがとうございました。



「**紡いでゆく、みんなの防災**」**紡災ヴィラ** への多大なるご協力ありがとうございました。

### 後援

内閣府政策統括官（防災担当）・奈良県・（公財）奈良県労働者福祉協議会・奈良県生活協同組合連合会  
近畿労働金庫奈良地区本部・奈良県防災プラットフォーム連絡会・（株）奈良新聞社

### 協賛

奈良県医療福祉生活協同組合・奈良教育大学生生活協同組合・奈良県立大学生生活協同組合・  
一般社団法人障害者雇用促進センター KIZUNA Café・RAiNBOW SOUL by 湯煮温

一 共済ショップ奈良店も地域の中で紡いでゆきますー  
11月3日に開催した紡災ヴィラでは、地域の皆さまに多数  
ご来場いただきましたこと、深く感謝申し上げます。防災を自  
分自身のことと考え、「紡ぐ」、きっかけの一日にしてい  
ただけましたでしょうか。「奈良は大仏さんが守ってくれる」とい  
う言い伝えがありますが、実際に災害があったときに皆さまを助  
けるのは地域や家族とのつながりではないでしょうか。  
共済ショップ奈良店は、奈良県という地域のなかにあり、皆  
さまの日常生活に寄り添った保障相談を基盤に地域での役  
割を発揮していきます。是非、皆さまのお越しをお待ちして  
おります。

## 共済ショップ 奈良店

〒630-8325 奈良市西木辻町200-47

TEL.0742-23-6031

受付時間

平日9:00~17:00

(土・日・祝日・12月30日~1月3日は休業)

奈良市西木辻町のやすらぎの道沿いにございます



全労済奈良推進本部  
(奈良県労働者共済生活協同組合)

TEL. 0742-23-6031

FAX. 0742-23-8004

広告番号 260803

### 受付時間

午前9:00~午後5:00

(土・日・祝日12月30日~1月3日は休業)

保障のことなら

**全労済**

全国労働者共済生活協同組合連合会

26182005.18.11.20,000KD